

令和4年度 第2回 藤沢市立秋葉台小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2022年 7月 8日（金）10時～
場 所 遠藤市民センター 第1談話室

出席委員	<p>渡辺 節 (会長・秋葉台サンシャイン会長) 小木曾 貴洋 (副会長・秋葉台小学校 校長) 青木 浩一 (遠藤地区青少年育成協力会会長) 武宮 芙由美 (秋葉台小学校 PTA 会長) 若宮 隆志 (遠藤市民センター長) 小林 俊 (秋葉台幼稚園園長・前学校評議員) 戸倉 裕二郎 (湘南たんぼぼ保育園園長・前学校評議員) 駒松 佳恵 (前学校評議員) 高橋 恭平 (藤沢市社会福祉協議会地域福祉課 CSW) 長谷部 葉子 (慶應義塾大学環境情報学部 准教授) 堀田 順子 (六会地区民生委員児童委員) 伊澤 清美 (遠藤地区主任児童委員) 渡真利 康子 (御所見地区主任児童委員) 多鹿 実江子 (秋葉台小学校 教頭) 地域共生社会推進室から2名 教育総務課から2名 以上18名出席</p>
次第	<p>1. 開会 2. 会長のあいさつ 3. 議題 (1) 昨年度、民生委員さんから出された課題について ～「地域共生社会推進室」との話し合い～ (2) その他 4. その他 会議予定日 5. 閉会</p>
協議内容	<p>* 3. (1) について ・小木曾副会長・・・昨年度より民生委員・CSWの方から支援の必要な家庭や外国につながるのある家庭に介入することへの課題が出ていました。今回は、地域共生社会推進室の方々に来ていただき、知恵を借りられる場を設定しました。 ・地域共生社会推進室から・・・介入できた事例の紹介。 <u>本人に困り感はないが、周りの関係者が課題を感じている場合の介入事例</u> 【1】 SC や SSW、学校から一報がある場合。 【2】 SC が保護者に地域共生社会推進室に相談してみるよう働きかけた場合。 【3】 高校進学時に生徒の学習支援から家庭への支援につなげた場合。 【4】 高齢者がいる家庭に保健師が訪問し、支援につなげたケース。 また、家族の病気をきっかけに訪問のきっかけになったケース。 【5】 気になる家庭がある場合、関係者が市役所職員を連れてきてい いか当事者に聞き、訪問のきっかけとなったケース。</p>

外国につながるのある家庭への介入事例

【1】病院の先生から通院時に通訳をつける依頼があり、支援につながった。

【2】外国の方のコミュニティ（日本語教室）を紹介し、支援につなげた。家庭への支援は、市役所、民生委員、CSW、自治会などが連携の輪を作り、重なりながら支援していくのがいい。

・堀田委員・・・支援の必要な方は、孤立し、困っていても声を上げられないことがある。顔つなぎをして、本心を言ってくれるようになったことで支援に結びついた。

・渡真利委員・・・外国につながるがある家庭の方は、ごみの出し方やルールをなかなか理解してもらえないことも多く、近隣の方々が困っている。何か良い解決策はないかと考えあぐねている。

・伊澤委員・・・民生委員主任児童委員として、学校からの依頼等で支援が必要な家庭の見守りをしている。制度の狭間でお宅の訪問等もできず、介入ができない。

・戸倉委員・・・福祉関係者が介入してもすぐに解決には至らない。現在、地域の関わりが無くなり、家庭に介入できなくなっている。地域コミュニティーを再生し、色々な人が関わるといい。また、外国につながるのある方が住みやすいコミュニティーがあるといい。お祭りで母国の食べ物を紹介するなどもできる。

・長谷部委員・・・仕事柄、留学生の受け入れや外国にも行く機会があり、外国の方とは習慣の違いがあるのを感じる。習慣の違いから起こる問題に対して、日常的に関わりを持っておくことで、困ったときに声を掛け合うことができるようになる。

・小木曾副会長・・・制度の狭間があり、支援の必要な家庭への介入は難しいが、藤沢市には支援のツールがたくさんある。そこへ繋げていくために、CSW、地域共生社会推進室等があり、そこに相談をするといい。色々な機関が重なりながら支援をしていく際、まず学校がプラットホームになって、地域共生社会推進室等につなげるので、相談にのり、解決にあたってほしい。

次回開催日程 2022年 9月 22日（金）10時～
場所：藤沢市立秋葉台小学校